

歴史講演会無事終了する

平成31年2月23日(土)開催の歴史講演会「古代から中世のさらしな地域は？」のタイトルで地域住民へ回覧しましたところ、寒い中を大勢の皆さんがお集まりになり、元長野県文化財保護審議委員、現千曲市文化財保護審議委員でご活躍されております笹澤 浩先生をお迎えして、古代の川西地区の遺跡、特に社宮司遺跡と更級郡衙についてお話をして頂きました。弥生時代から千曲市（さらしな、はにしな）は大河千曲川と自然に恵まれ東日本最大の米作地帯であった。千曲川右岸はにしな（屋代地区）は、水害で地下深く当時の証拠品が埋没しており発掘により発見されるが川西地域は埋没が少ないため、発掘調査で発見される埋蔵品が非常に少ない、社宮司遺跡大溝に囲まれた掘立柱建物群の説明、出土品より想像されるお話し等を中心に、活発な質問もありアット云う間に終了しました。歴史・文化の宝庫としてこれからもこの様な催しを計画して行きたいものです。



熱演される講師の笹澤 浩先生



熱心に聞く参加者の皆さん



会場の風景



熱心に聞く皆さん